



第 103 号(平成 30 年2月 13 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は次の方々に長野県の山岳地域で発生した遭難事例を原則的に 1 週間ごとにお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。

- ◇お客様と接する登山用品店舗スタッフの方
- ◇インターネットの登山情報サイトを利用される登山者
- ◇長野県内の各地区山岳遭難防止対策協会

平成 30 年中の山岳遭難発生状況(平成 30 年1月1日~2月4日)

BC(バックカントリー)は、登山行為を伴う「スキー(スノーボード)登山」と登山行為を伴わない「ゲレンデ外滑走」の総称。

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)外国人
平成 30 年	11	1		5	9	15	5
平成 29 年	19	4	1	7	13	25	5
前年同期比	-8	-3	-1	-2	-4	-10	0
内)BC	-7	1	0	-3	-9	-11	0

山域別発生状況


区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	0					0	
	後立山	3	27.3%	1		1	3	5
	その他	1	9.1%				2	2
	計	4	36.4%	1	0	1	5	7
中央アルプス		0.0%					0	
南アルプス		0.0%					0	
八ヶ岳連峰	3	27.3%			1	3	4	
その他の山岳	4	36.4%			3	1	4	
計	11		1	0	5	9	15	

態様別発生状況

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	3	27.3%			3		3
転倒	1	9.1%			1		1
病気	1	9.1%				1	1
道迷い	3	27.3%				6	6
落石		0.0%					0
雪崩	1	9.1%	1				1
落雷		0.0%					0
疲労凍死傷	1	9.1%				2	2
不明・他	1	9.1%			1		1
計	11		1	0	5	9	15

男女別・年齢別比率

区分	男性					(人)比率	女性					(人)比率	男女計		
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率	
19歳以下					0	3人 33.3%				3	3	4人 66.7%	3	7人 46.7%	
20代					0						0				0
30代			3		3					1	1				4
40代	1				1	2人 22.2%					0	1人 16.7%	1	3人 20.0%	
50代				1	1					1	1				2
60代			2	2	4	4人 44.4%					1	1人 16.7%	5	5人 33.3%	
70以上					0						0				0
計	1	0	5	3	9		0	0	0	6	6		15		
比率	60.0%						40.0%								

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
1月27日	光城山	62	男	滑落	負傷	登山中、バランスを崩して滑落し負傷したもの
27日、安曇野市豊科の光城山で、男性Aさん62歳が滑落して首や腰など骨折の重傷を負う山岳遭難が発生しました。						
2月2日	八ヶ岳連峰 柳川北沢	54	女	発病	無事救出	登山中、体調不良を訴え行動不能となったもの
2日、八ヶ岳連峰柳川北沢堰堤広場付近で、女性Aさん54歳が体調不良となる山岳遭難が発生し、茅野署員等で発見救助しました。						
2月4日	八ヶ岳連峰 ジョウゴ沢	39	男	転倒	負傷	下山中、転倒し負傷したもの
4日、八ヶ岳連峰硫黄岳ジョウゴザワ付近で、男性Aさん39歳が下山中に転倒して左足首を負傷する山岳遭難が発生し、茅野署員等で救助しました。						
遭難現場の状況						
2月4日	須坂市 米子不動氷瀑	36	男	滑落	負傷	アイスクライミング中に滑落し負傷したもの
4日、須坂市米子の米子大瀑布の氷瀑群で、男性Aさん36歳がアイスクライミング中に滑落して左足首を負傷する山岳遭難が発生し、須坂署員等で救助しました。						

山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

県内の山間地は大町地域、飯山中野地域を中心に1月下旬から断続的に降雪が続き積雪が増えています。標高の低い里山でも積雪や凍結により登山道の状況が変化しています。入山時は慎重な行動と判断を心がけてください。

2月1週は八ヶ岳での遭難が2件連続で発生しました。冬の八ヶ岳は山岳雑誌等で広く紹介され、登山者に人気の山域ですが、例年、遭難が後を絶ちません。西高東低の冬型の気圧配置が続くこの季節は、稜線付近では強烈な風と寒気が吹き付け非常に厳しい気象条件となります。またコースも堅い雪壁と岩稜のミックス帯が続き、的確なアイゼン・ピッケルワークが要求されます。コースやメンバーの力量によってはロープによる確保等も必要となります。登山をする際は自分の経験・力量に見合った登山計画を行い、天候不良時は登山を中止する等、慎重な判断を心がけてください。

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関する質問・意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝